

第22回

周産期医療安全・安心研究会

「混合病棟における安全と質に影響する 看護人員配置を考える」

①第34回日本看護科学学会交流集会 2014年11月30日(2日目) における準備状況

もはや「産科病棟」で子どもは産まれない？

混合病棟における分娩を看護管理者・看護職全体で共に考える

発表者 齋藤いずみ (神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域 母性看護学分野 教授)

現在、我が国の病院における分娩は80.6%が混合病棟で行われる。

出典) 北島博之：全国の総合病院における産科混合病棟と母子同室の状況について、日本周産期・新生児医学会雑誌 48(3), 661-668, 2012.

②院生の修士論文進捗状況

妊娠期の家庭血圧の推移と不安との関係および分娩・産褥期の血圧推移

発表者 長野なおみ (神戸大学大学院保健学研究科 博士前期過程)

◆日時 平成26年11月27日(木) 18:00~20:30

◆場所 医療法人財団 パルモア病院 5階講堂

◆会費 無料

お申込み・お問い合わせ

周産期医療安全・安心研究会事務局

(神戸大学大学院保健学研究科内)

TEL&FAX 078-796-4524

E-Mail n.hasegawa@port.kobe-u.ac.jp

事務局 長谷川 なつこ

(火・木曜日)

公式HP perinatalcare.jp/



会場アクセス

JR・阪神電鉄「元町」駅より徒歩3分

神戸市営地下鉄「県庁前」駅より徒歩3分

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 4-7-20

詳しくはホームページを
ご覧ください。

公式HP palmore.or.jp/

